

TOKYOINK NEWS

No.12

東京インキニュース
2012.9

当社の製品群は「安心・安全」「防災・復旧」「環境・エコ」をコンセプトに開発を推進しています。

代理店通信3  宮崎県

今回はテラセルの販売にご協力頂いている、宮崎県宮崎市に本社を置く「株式会社ジオテックHD」様からのご意見や感想を紹介します。

テラセルで脱コンクリートへの挑戦！

テラセル® 擁壁工法

株式会社ジオテックHD インノベーション事業部

主任 辻 崇史 (大阪府枚方市 出身)

猪野 啓太 (宮崎県宮崎市 出身)

例年、集中豪雨や台風などにより被災を受ける宮崎県ですが、「災害に強いまちづくり」としてインフラ整備が年々強化されております。そのような中、一般の道路建設や災害復旧時には従来工法であるブロック積み工法で対応される事が多くあります。しかし、山間部の搬入路の確保が困難な現場 **1** や降雪地帯の冬季施工箇所ではコンクリート製品の代替工法として **2** 安価で施工性に優れる「テラセル」が採用されております。

「テラセル」は軽量・コンパクトなため、両現場ともに容易に人力施工ができました。また、コンクリート養生も不要なため、ブロック積みが施工困難な現場での施工にも優れており、工期短縮が図れました。この施工事例で官公庁、施工業者様より高い評価をいただき、その後も継続的な採用に結び付けております。

今後は道路・砂防・のり面・地盤補強などあらゆる工事現場に「テラセル」の幅広い活用方法や魅力、環境への優しさを伝えて、インフラ整備に貢献できる商品として拡販に努めてまいります！



株式会社ジオテックHDの皆様



写真の左側：猪野様、右側：辻様



1 工事概要

施主名：椎葉村役場
 工事名：村道石原線改良工事
 施工時期：平成23年11月
 壁面積：42.5㎡
 担当者：辻様

2 工事概要

施主名：五ヶ瀬町役場
 工事名：古戸野～上赤線改良工事
 施工時期：平成24年1月
 壁面積：103㎡
 担当者：猪野様

豪雨による斜面崩壊の復旧工法

AZエルバリア工法／テラセル®擁壁工法

新潟営業所 所長 丹下 博文（愛媛県新居浜市 出身）



AZエルバリア工法



平成23年7月26日から30日にかけて、新潟県及び福島県会津地区を襲った豪雨により、県内の6河川が破堤するなどの土砂災害が発生しました。農地・農業用施設においては21市町村で15,240箇所にあつた甚大な被害を受け、早期復旧を図るべく、8月19日の閣議にて激甚災害に指定されました。災害復旧はふとん籠工による計画でしたが、玉石の調達には困難であり、耕作に間に合わせるため、工期の短縮を要望されました。そのため、ふとん籠工の代替工法として構造が単純で施工性が高い（工期短縮）「AZエルバリア工法」が採用されました。「AZエルバリア工法」は新潟県の新技術普及制度として「Made in 新潟」に登録

されており、斜面ののり尻に施工する土留め工法です。大型機械を使用しないため、狭小現場での施工が容易であり、耐久性が大幅に向上する亜鉛アルミニウム合金先メッキ鉄線を使用した型枠材であることが、採用される大きな理由となりました。

十日町市、南魚沼市、魚沼市、三条市、田上町、長岡市、小千谷市、柏崎市、上越市等に採用され、今年3月から8月末までに211件の実績があります。9月以降は約100件の採用が見込まれており、今年の降雪時期までに災害復旧はほぼ完成を向かえます。AZエルバリア工法には当社製品である枠固定用の樹脂アンカーピンや吸出し防止材用の高機能性不織布トレップTT-3S、さらに天端キャップも使用されています。軽量で柔軟性の有る部材を用いる事により、施工性に優れ、工期短縮を図り、災害復旧において貢献できる工法です。

テラセル®擁壁工法

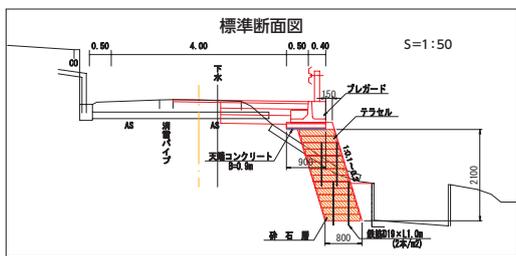


テラセル擁壁工法の計画された箇所は前面に既設水路があり、背面に下水管が通る制約条件の厳しい現場でした。テラセル擁壁工法以外に検討されたL型擁壁工と補強土壁工は、のり面勾配を1:0.3より急勾配にできるため、水路への影響は回避できましたが、底盤幅を確保するには背面掘削による下水管への影響があったため、施工は困難な状況でした。

また、ブロック積工は擁壁背面の下水管への影響は回避できましたが、のり面勾配を1:0.3より急勾配にできないため、水路への影響がありました。

そのため、のり面勾配を容易に変更でき、背面掘削影響の少ないテラセル擁壁工法が水路、下水管に影響を及ぼさないことにより採用になりました。また、天端部には防護柵の設置計画もあり、支柱の打込みが不要なプレガード基礎工を使用する事で、テラセル擁壁の天端に直接設置することができ、擁壁設置の計画範囲内に防護柵を施工する事ができました。さらに既設水路とテラセル擁壁工の計画線は平行ではなかったため、のり面勾配を変化させることにより水路影響を回避しました。

プレガード基礎工を使用することでテラセル擁壁工法の特徴も寄与した現場です。ただし、道路直下であるためテラセル擁壁工法の中詰材は全て砕石が望ましく、擁壁背面の埋め戻し部分についても良質土を用いる必要があります。



東京インキ株式会社
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.
<http://www.tokyoink.co.jp>

本社	〒114-0002 東京都北区王子1-12-4	TEL.03-5902-7627
生産技術部	〒114-0002 東京都北区王子1-12-4	TEL.03-5902-7628
札幌営業所	〒065-0020 札幌市東区北二十条東18-2-1	TEL.011-784-7772
仙台営業所	〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-1-18	TEL.022-274-3531
新潟営業所	〒950-0087 新潟市中央区東大通1-2-25	TEL.025-245-3141
名古屋支店	〒452-0813 名古屋市中区赤城町112	TEL.052-503-3721
大阪支店	〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町1-28	TEL.06-6761-0077
広島営業所	〒738-0023 広島県廿日市市下平良1-5-13	TEL.0829-34-4100
福岡支店	〒816-0912 福岡県大野城市御笠川3-13-5	TEL.092-503-8979